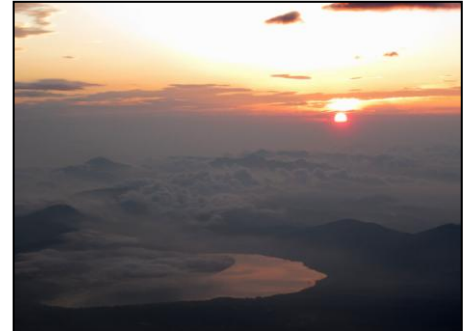


8月22日参加者23名が車に乗り合わせ、松本方面を出発。中央高速道を走り、大月JCからは河口湖ICへ向い、そこから富士スバルラインを走り5合目を目指す。4合目付近からマイカー規制解除の為か、大渋滞に出会うが、「佐藤小屋泊まり」と言うと、優先的に誘導してくれて、PM1:00五合目佐藤小屋に到着、泊る。昼食後、体調を整える為6合目に登る。そこは登山道の合流場所となり、頂上を目指す登山者が数珠繋ぎに登山道に連なっている。夕方、西空が茜色に染まり、陽が暮れると裾野に広がる街々の灯が瞬き始めた。明日の天気を期待して就寝する。



七合目で日の出を迎える

翌23日AM2:40準備を整え、森林帯の暗闇の中、ヘッドランプを照らし登り始める。6合目から溶岩礫帯をジグザグに登り、7合目付近で空が明るくなり、眼下の山中湖を照らしながら太陽が昇る。高度があがるにつれ、徐々に風が強くなり荒れ、砂塵が舞う長い岩礫帯の登山道を登り続ける。本8合3400mで朝食を摂り、一休み。ここから、今まで視界から隠れていた富士山頂が望まれ、皆元気を取り戻し、一気に8合5尺、9合目を登り、いよいよ山頂を目指す。

岩礫帯の登山道を登る



山頂の火口と剣が峰 3776m

階段状の溶岩道に登り、大きな鳥居を潜ると、AM10:00風が舞う山頂の稜線に登り出る。「やった！」一休み後、御鉢巡りをして剣が峰の最高点を目指すこととする。強風が舞う中、外輪コースを行く。噴火口を右に、富士宮ルート of 合流ルートを見ながら進み、赤茶けた急坂を登り詰めると、AM11:00二等三角点の在る日本最高点に到達する。「おめでとう！」目頭が熱くなり、自然に涙が出てくる人もいたようだ。日本最高点で20分程憩い、全員で記念撮影をする。



剣が峰、日本最高点 3776m を目指して登る。 山頂に見事登頂

富士登山の大斜面と八ヶ岳

日本最高点からは、富士山の御鉢巡りの残コースを半周して吉田口山頂へ向い、山頂小屋で温かい昼食を摂り、PM12:30下山を開始する。専用の砂礫道の下山路を、眼下に広がる雲海に向かって下り続け、PM3:45、5合目佐藤小屋に到着する。PM4:15、全員乗ってきた同じ車で、往路と同じ道路を帰路として、河口湖ICから中央高速道を走り、陽が暮れ始めたPM7:30、松本へ到着。解散とした。

「大きくて豪快な大斜面を登る富士登山、登頂感のある大満足の登山だった。」